静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登　が可能
連写、装飾なども可能
V602SHのディスプレイなどに合ったサイズで撮影可能

メール添付や壁紙登録など、V602SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1632×縦1224ドットの大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由でパソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V602SHでプリントアウトの指定が可能

パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

補足
- V602SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

- ムービー変装はN-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横240×縦320ドット（QVGA） 横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横1632×縦1224ドット※1 横1280×縦960ドット（SXGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V602SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）	V602SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ
光学ズーム	2倍（2段階）	
デジタルズーム	横240×縦320ドット：1〜10倍 横120×縦160ドット：1〜20倍 横120×縦128ドット：1〜20倍	横1632×縦1224ドット：なし 横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1〜1.6倍 横640×縦480ドット：1〜2.5倍
スーパーメール添付	可能	可能※2
ファイル形式	JPEG形式（.jpg）	
登録可能数（目安）	1220ファイル※3	140ファイル※3

※1 デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2 サムネイルまたは横240×縦320ドットの縮小画像が添付できます。また、データフォルダに登　した画像も添付できます。
※3 お買い上げ時の状態（画像サイズ、画質）で撮影し、V602SHに登　したときの画像数です。

- V602SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-31を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。（例：2004年07月16日午後12時34分に撮影→「04-07-16_12-34.jpg」）※
デジタルカメラモード	「VFSH0001.JPG」、「VFSH0002.JPG」…の順に、ファイル名が付きます。

※ 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00〜99、aa〜zz）が付加します。
- 写メールモードのファイル名は、変更できます。（☞P.12-46）

デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V602SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V602SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

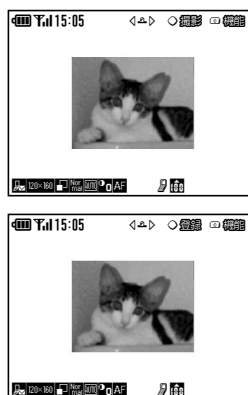
ビューアポジションで撮影する

- 各種撮影方法などのメニューの選択画面は、縦向きに表示されます。
- カメラモード選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容をディスプレイに表示させることができます。（☞P.6-23）

1 **ビューアポジション（☞P.1-12）で、ⓢを長く（1秒以上）押す。**
お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 **ⓒ（機能）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、ⓢを押す。**

3 **「❶写メールモード」または「❷デジタルカメラモード」を選び、ⓢを押す。**

4 **画像をディスプレイに表示する。**
- ビューアポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-23
- マニュアル撮影時：☞P.6-26
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

5 **ⓢを押し切る。**
ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
- 撮影のやり直し：ⓒ（1秒以上）➡「❶YES」選択➡ⓢ
- 画像編集：☞P.12-24〜P.12-31

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-23）
- 撮影後自動的に静止画を登　するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-28）
このときは、操作6は必要ありません。

6 **静止画を登録するときは、ⓢを押す。**
登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作4の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 **モバイルカメラを終了するときは、ⓒを長く（1秒以上）押す。**

登録していない画像があるとき
カメラに戻るかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 「❶YES」を選び、ⓢを押すと、撮影画面に戻ります。
- 「❷NO」を選び、ⓢを押すと、撮影後の画面に戻ります。

オープンポジション／セルフショットポジションで撮影する

1 **◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、◉を押す。**

2 **「❶写メールモード」または「❷デジタルカメラモード」を選び、◉を押す。**

3 **画像をディスプレイに表示する。**
- オープンポジションで使用するボタン：☞P.6-4
- 各種撮影方法：☞P.6-23
- マニュアル撮影時：☞P.6-26
- フォーカスロック撮影：☞P.6-7

4 **◉を押す。**
ピントの自動調整（☞P.6-7）を行ったあと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
- 撮影のやり直し：クリア➡「❶YES」選択➡◉
- 画像編集：☞P.12-24〜P.12-31

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

- シャッター音のパターンは変更できます。（☞P.6-23）
- 撮影後自動的に静止画を登　するように設定することもできます。（自動保存設定：☞P.6-28）
このときは、操作5は必要ありません。

5 **静止画を登録するときは、◉を押す。**
登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作3の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

6 **モバイルカメラを終了するときは、☎を押す。**

セルフショットポジションで撮影するとき
撮影前のディスプレイには、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後のディスプレイには反転していない画像が表示されます。

登録していない画像があるとき
終了の確認メッセージが表示されます。
- 「❶YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登　せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「❷NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

メモリダイヤル登録　写メールモードで撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。

C／V（機能）➡「5メモリダイヤル登録」選択➡Ⓢ／◉

■ 以降の操作：☞P.5-6操作4

サムネイル登録　デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルだけを登　します。

C／V（機能）➡「1サムネイル登録」選択➡Ⓢ／◉

●データフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

サムネイル90度回転　デジタルカメラモードで撮影した静止画を回転し、画像の向きを変えて登　できます。

C／V（機能）➡「2サムネイル90度回転」選択➡Ⓢ／◉

●さらに回転するときは、C（1秒以上）またはV（回転）を押します。

■ 回転後のサムネイル登　：Ⓢ／◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にC／V（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

光学ズームON／OFF		光学ズームを設定します。（☞P.6-26）
撮影サイズ設定		撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-26）
AFモード切替		オートフォーカス撮影／マニュアル撮影を設定します。（☞P.6-25）
画質設定		画質を設定します。（☞P.6-27）
モバイルライト		モバイルライトの点灯時間とカラーを設定します。（☞P.6-25）
ムービー変装※		顔に装飾を付けて撮影します。（☞P.6-14）
シーン別撮影		シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.6-27）
表示切替		画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-24）
	連写設定	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-14）
	フレーム設定※	画像にフレームを設定します。（☞P.6-13）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-23）
	登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-28）
	オートリセット設定	モバイルカメラを終了するとき、設定内容をリセットするかどうかを設定します。（☞P.6-28）
データ消去		V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
キー操作ガイド		現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.6-23）
明るさ設定		明るさを調整します。（☞P.6-26）
カメラモード選択		モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.6-28）

※ 写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

静止画の撮影直後（画像登　前）にC／V（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード

表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.12-24～P.12-31）
登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-38）
メモリダイヤル登録	撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。（☞P.6-12）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）

■デジタルカメラモード

サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.6-12）
サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-12）
メール添付	サムネイルまたは縮小した画像をメールに添付します。（☞P.6-40）
登録先	静止画の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）

フレームを付けて撮影する

写メールモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も利用できます。
●連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

1 **写メールモード（☞P.6-10、P.6-11）で、CまたはV（機能）を押す。**

2 **「9特殊撮影設定」を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

3 **「3フレーム設定」を選び、Ⓢまたは◉を押す。**

4 ***あらかじめ登録されているフレームを利用するとき***

1「1固定フレーム」を選び、Ⓢまたは◉を押す。

2フレームを選び、Ⓢまたは◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ オープンポジションでのフレームの変更：◎（前へ）／V（次へ）

3Ⓢまたは◉を押す。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、Ⓢまたは◉を押す。

●フレームに利用できない画像は、選択できません。

2フレーム画像を選び、Ⓢまたは◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：C／◎（戻る）➡画像選択➡Ⓢ／◉

3 ⓢまたは◉を押す。

●撮影サイズ「240 320」のときに、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

1「3OFF」を選び、ⓢまたは◉を押す。

顔に装飾を付けて撮影する

写メールモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手したアイテム（MSK形式の画像）も利用できます。
●ムービー変装は、撮影サイズ「240 320」で起動します。ムービー変装起動中は、撮影サイズの切替、フレーム／連写設定、カメラモードの切替などはできません。

1 写メールモード（☞P.6-10、P.6-11）で、Ⓒまたは㊫（機能）を押す。

2「6ムービー変装」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3「1固定アイテム」または「2オリジナル」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 種類を選び、ⓢまたは◉を押す。

■ フレームの変更：またはⓞ（前へ）／または㊫（次へ）
●ムービー変装に利用できないファイルは、選択できません。

5 ⓢまたは◉を押す。

選んだ装飾を付けて撮影できる状態になります。
●フォーカスロック（☞P.6-7）したり、オープンポジションで ⓞ（認識）を押すと、顔の位置に合わせて装飾が表示されます。
■ ムービー変装の解除：Ⓒ／㊫（機能）➡「ムービー変装終了」選択➡ⓢ／◉

静止画を連続して撮影する

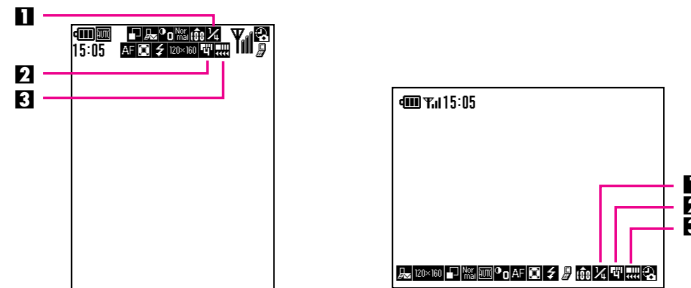
撮影前に連写モードを設定しておくと、静止画を連続して撮影できます。
連写モードの種類は、次のとおりです。

4枚連写	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像を作成します。
9枚連写	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。
25枚高速連写※	25枚の静止画を連続して撮影し、25枚の静止画と分割画像を作成します。
ブラケット連写	画像の明るさやモバイルライトの色を変えて9枚の静止画を撮影し、9枚の静止画と分割画像を作成します。
オーバーラップ連写	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。

※ 撮影サイズ「240 320」の写メールモードでは、25枚高速連写は利用できません。
●デジタルカメラモードでは、撮影サイズ「480 640」のときに4枚連写だけ利用できます。
●連写モードでは、1枚目のシャッター（ⓢまたは◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。
●4枚または9枚連写では、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。また、回数分シャッターを押す、「マニュアル」に設定することもできます。

補足 連写画像から1枚の静止画を選択して登 したり（☞P.12-22）、スーパーメールに添付して送信する（☞P.6-38）こともできます。

ディスプレイ

●通常のカメラモードのマークについては、P.6-3を参照してください。

1 枚数表示
　～：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済または表示中の枚数を示します。
　：分割画像（オーバーラップ連写は合成画像）を確認中に表示されます。

2 連写モード表示
　：4枚連写ON／：9枚連写ON／：25枚高速連写ON
　：ブラケット連写ON／：オーバーラップ連写ON

3 連写スピード表示
　：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル
　：高速／：通常（ブラケット連写、オーバーラップ連写）

連写モードを設定する

1 写メールモードまたはデジタルカメラモード（☞P.6-10、P.6-11）で、Ⓒまたは㊫（機能）を押す。

2「特殊撮影設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

3「2連写設定」を選び、ⓢまたは◉を押す。

4 *写メールモードのとき*

1「14枚連写ON」～「オーバーラップ連写ON」のいずれかを選び、ⓢまたは◉を押す。

写メールモードの「25枚高速連写」を選んだときは連写モードマークが点灯し（☞上記）、撮影画面に戻ります。
■ 連写モードの解除：「OFF」選択➡ⓢ／◉（操作完了）

デジタルカメラモードのとき

1「14枚連写ON」を選び、ⓢまたは◉を押す。

■ 連写モードの解除：「2OFF」選択➡ⓢ／◉（操作完了）

5 連写スピードを選び、ⓢまたは◉を押す。

連写モードマークが点灯し（☞上記）、撮影画面に戻ります。

注意
●暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
●モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

● あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.6-15）

1 画像をディスプレイに表示し、ⓢを押し切るか、◉を押す。

1 枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：Ⓒ／Ⓥ（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登　：上記操作のあと、ⓢ／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：Ⓒ（1 秒以上）／◎（取消）➡「1YES」選択➡ⓢ／◉（途中まで撮影した画像は消去されます。）

手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）

● 1 枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッターを押します。（ⓢ押し切り／◉）

2 連写が終われば、合成画像が表示される。

4 枚連写

デジタルカメラモードは、1 枚目に撮影した静止画が表示されます。

- 連写画像内の静止画の確認：◄►／◉
- 連写画像内の静止画の登　：◄►／◉（画像選択：分割画像も可能）➡Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「1表示画像登録」選択➡ⓢ／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◄►／◉➡Ⓒ／Ⓥ（機能）➡「2表示画像添付」選択➡ⓢ／◉（画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

3 連写画像を登録するときは、ⓢまたは◉（登録）を押す。

連写モードのままで元のモードに戻ります。

● 写メールモードは、分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登　されます。（登　場所：データフォルダ内の連写フォルダ）

● デジタルカメラモードは、1 枚ずつ個別に登　されます。（登　場所：デジタルカメラフォルダ）

■撮影直後に利用できる機能

画像登　前にⒸ／Ⓥ（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

表示画像登録	撮影した静止画を選んで登　します。
表示画像添付	撮影した静止画をメールに添付します。
登録先	連写画像の登　先（V602SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-28）
データ消去	V602SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-32）
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-23）